

(別紙4(2))

事業所名 グループホームやすらぎの家

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 6 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個別の介護計画に基づいた記録が、スタッフにより個人差がまだある。どのスタッフも統一された個別の記録が出来るように記録の様式の改善が必要。	全スタッフが同じレベルで記録ができ、記録の統一化が図れ、モニタリングしやすい個別の記録様式を作成する。	1)現状の記録様式の問題点を明確にする。 2)利用者毎に必要な記録の項目をあげる。 3)1)2)を踏まえ、新様式を作成し、試してみる。 4)ケア会議等で、新様式の使いにくい点をあげ、様式を改善する。	6ヶ月
2	12	これまでホームでの見取りは行っていない。今後、家族の希望時に対応できるよう、見取りの際の体制作りが必要。	スタッフの見取りにおける観察やケアについての教育がおこなえる。	・毎月の職員会議後の時間を使い、(15分~30分)定期的に学習をしていく。 ・参加できなかったスタッフには、資料を基にレポートを書いてもらう。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。